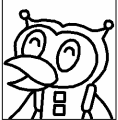




ほうがんし かくだいず  
方眼紙を使った2倍の拡大図は、どうやってかくの

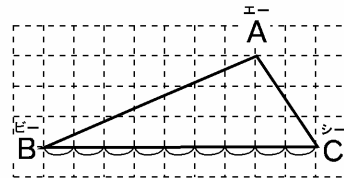


たいおう  
対応する辺の長さを2倍にして、図をかけばいいんだよ。

1

右の三角形で考えてみましょう。

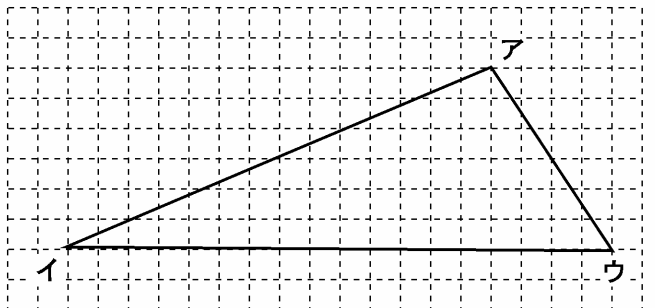
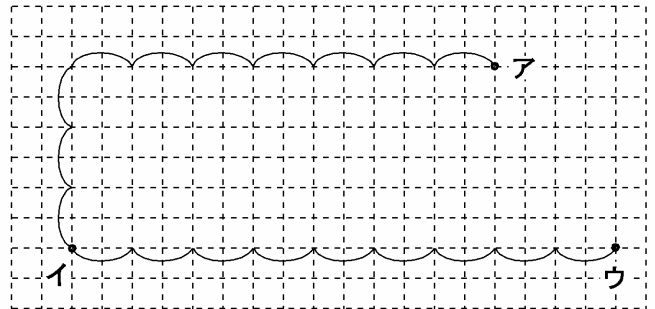
方眼紙を使って、右の図の三角形ABCの2倍の  
拡大図をかきましょう。



2

2倍の拡大図をかきましょう。

- ① 点Bに対応する、点イをきめましょう。
- ② 点Cに対応する、点ウをきめましょう。
  - ・辺イウの長さは、辺BCの長さの2倍にします。(7×2) ますになります。
- ③ 点Aに対応する、点アをきめましょう。
  - ・点Aは、点Bを基準にすると、上に3、右に7ますの所にあります。
  - ・点アは、点イを基準にすると、上に、(3×2)、右に(7×2) ますの所になります。
- ④ 3つの点を直線でつなぎましょう。
  - ・点ア、点イ、点ウを直線でつないでできた三角形が、三角形ABCの2倍の三角形です。



〔覚えておこう〕 3倍の拡大図のときには、3つの辺の長さを、それぞれもとの長さの3倍にします。  
4倍の拡大図のときには、3つの辺の長さを、それぞれもとの長さの4倍にします。